

(応募要領)

平成 23 年度
低 CO₂ 川崎パイロットブランド ' 11 (試行実施)
応募要領

事務局・連絡先

川崎市環境局地球環境推進室

E-mail: 30titan@city.kawasaki.jp (*30: 数字で"30")

TEL: 044-200-3837 FAX: 044-200-3921

低 CO₂ 川崎ブランドホームページ

<http://www.k-co2brand.com/>

(応募要領)

1. 目的と特徴

地球規模での温室効果ガス排出削減のためには、工場・事業所からの直接排出分を把握し管理するだけでなく、事業活動をライフサイクル全体で総合的に評価した上で望ましい取り組みを推進していくことが重要といえます。

川崎市では、下記を目的、特徴とする認定制度「低 CO₂川崎ブランド」を検討しています。平成 21～23 年度は、試行的に「低 CO₂川崎パイロットブランド」の公募・選定を行っています。平成 23 年度は、川崎市内で研究開発（確立・企画）または製造（提供）されライフサイクル全体で CO₂削減に貢献している製品・技術・サービス（以下、製品等）及び市内で活躍する市民活動を募集します。

低 CO₂川崎ブランドの目的

- ライフサイクル全体で CO₂削減に貢献する川崎発の製品・技術・サービス・市民活動等を評価し、広く発信することを通して地球温暖化防止を図ります。
- ライフサイクル全体での CO₂削減効果の考え方を普及させることにより、市民や企業の環境意識・スキルの向上を図ります。
- 低 CO₂川崎ブランドを通じて、地球全体での温室効果ガスの削減に貢献します。

低 CO₂川崎ブランドの特徴

- 原材料調達時・製品使用時の CO₂ 排出削減や低 CO₂ 技術の開発等、製品・技術・サービスのライフサイクル全体を通じた温暖化防止への貢献を対象とします。
 - 最終製品だけでなく、素材や部品等の製品、サービスも対象とします。
 - 製造業だけでなく、非製造業を含む幅広い業種、団体を対象とします。
 - 組織の規模を問わず、中小企業・団体を含めた幅広い取り組みを対象とします。
 - 生産活動だけでなく、製品の研究開発や製造プロセスの技術移転による貢献も対象とします。
- 製品・技術・サービスのライフサイクル全体を通じた CO₂削減量を実際に算定いただきます。
 - 本事業への応募、広報を通じ、CO₂削減量算定の考え方を普及させることも目的としています。
 - 講習会・相談会を開催し、削減量の算定方法や審査シートの記入方法に関する説明を行います。
- CO₂削減に貢献する市民活動も対象とします。
 - ライフサイクル的思考をもって活動する市民活動を選定します。
 - 希望する団体には、実際に CO₂削減量の算定を行っていただき、結果を公表していきます。

低 CO₂川崎パイロットブランド'11 に選定されると

選定されると、下記の優遇やメリットを受けることができます。

- ホームページや川崎市広報などでの広報
- 川崎市国際環境技術展での選定表彰式・ブース展示
- 低 CO₂川崎パイロットブランドロゴマークの使用
- 「環境対策資金融資」(平成 22 年 4 月 1 日施行)での優遇

環境対策資金融資とは、中小企業者等が省エネ対策等の環境への対応を図ろうとする場合の川崎市の融資制度で、本パイロットブランドに選定された製品・技術を有する方には、金利が優遇されます。

- 「川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例」(平成 22 年 4 月 1 日施行)に基づく計画書及び報告書への記載

同条例では、一定規模以上の事業者には「事業活動地球温暖化対策計画書」及び「事業活動地球温暖化対策結果報告書」の提出を義務付けていますが、この中に記載する地球温暖化対策のうち、「他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置」として、低 CO₂川崎パイロットブランドの選定について記載することが認められています。

(応募要領)

2. 部門

(1) 製品・技術部門

川崎市内で製造または研究開発(確立)され、ライフサイクル全体¹で CO₂ 排出削減に貢献している製品・技術。

(2) サービス部門

川崎市内で提供または企画(確立)され、ライフサイクル全体で CO₂ 排出削減に貢献しているサービス。

(3) 市民活動部門

川崎市内で実践または企画され、市民の創意工夫によって市内外の CO₂ 排出削減に貢献している市民活動。

製品・技術、サービス部門は、企業や団体のさまざまな活動を対象としています。ライフサイクル全体での CO₂ 削減効果の考え方を広く普及させることも、本ブランドの目的の一つであり、中小の事業者・団体からの積極的な応募を期待しています。

市民活動部門は、市民の意識を啓発し、市民活動による市内外の CO₂ 排出削減を促進することを目的として、平成 22 年度に新設されました。市民活動による CO₂ 排出削減の功績を称えるだけでなく、選定された市民活動の事例を発信することで、市民の意識啓発、ライフサイクル的思考の普及、同様の活動の普及などの波及効果も目指しています。

¹ ライフサイクル全体とは、製造工程での CO₂ 排出削減だけでなく、使用時の省エネルギーや、廃棄物を原料として調達することによる CO₂ 排出量の削減等を含むことを意味します。

(応募要領)

3. 選定基準

(1) 製品・技術部門、サービス部門

製品・技術、サービス部門では、主に企業の事業活動を対象としています

製品・技術部門、サービス部門では、低 CO₂ 川崎パイロットブランドの選定にあたり、市内の企業の取り組みの動機付けとなる、または市民の意識を啓発するなど、市全体における CO₂ 削減の取り組みの一層の推進を期待し、下記の基準から評価される製品等を選考します。

なお、総合的に評価を行うため、～ のすべてに該当する必要はありません。

<基本となる選定基準>

ライフサイクルでの環境効率の向上

ライフサイクル全体で CO₂ 削減効果を評価し、製造工程（サービス提供段階、活動段階）以外のライフステージでの CO₂ 削減効果も含め、環境効率²の高いものであること。

特に、製品においては、製造工程以外での CO₂ 排出量の削減効果が大きい取り組みを、より高く評価する。

独自性・先進性

独自の工夫や先進的な技術を活用した取り組み（フロントランナーとしての取り組み）であり、他の企業・組織への今後の普及も期待され、より社会に大きく寄与するものと考えられること。

市民、社会全体の取り組みの推進

幅広い層の市民を巻き込む取り組み、広く市民を啓発できると期待される取り組みであること、またその取り組みを選定することでより市民等の意識向上が期待されるものであること。

市民、社会を含め、多様な主体での CO₂ 削減の推進が期待されるものを高く評価する。

国際的な貢献

海外への技術移転や、輸出先での効率的なエネルギー使用によって、海外での CO₂ 削減に大きく寄与する製品等であること。これらの製品等を、川崎市における政策の一つである「環境技術による国際貢献」に寄与するものとして高く評価する。

²同じ機能の製品等における CO₂ 排出量との比較による削減率

(応募要領)

(2) 市民活動部門

市民活動部門の選定基準については、前ページの 4 つの評価基準を市民活動の特性に合わせて下記のように捉え、これを特に重視し選定を行います。

なお、市民活動部門については、下記 ~ のすべてにあてはまるものを選定します。

< 市民活動に特に期待し重視する観点 >

ライフサイクル思考

ライフサイクル思考に基づいて、CO₂ 削減に貢献していること。つまり、活動の成果としての CO₂ 削減のみではなく、活動に必要な物資の調達や廃棄にあたっては、省資源や省エネルギー、ごみ減量等に配慮していること。ライフサイクル思考を普及させる、川崎ブランドの視点として欠かせない事項。

工夫・改善

参加者の拡大、効率的な活動等に向けて工夫・改善されていること。これまでの活動に工夫を加え改善を行ったり、他にない活動を新たに始めたりする取り組みは、市民の環境意識啓発に有効であり、かつ他の活動の参考となる。

再現性・継続性

再現性があり、継続的に実施されていること。活動の実施方法がシステム化（定型化）されていることにより、他の団体や個人が参考にして、自らの活動として再現・展開できることを期待。また、活動が継続的に実施されていることにより、今後も引き続いての CO₂ 削減効果が期待できる。

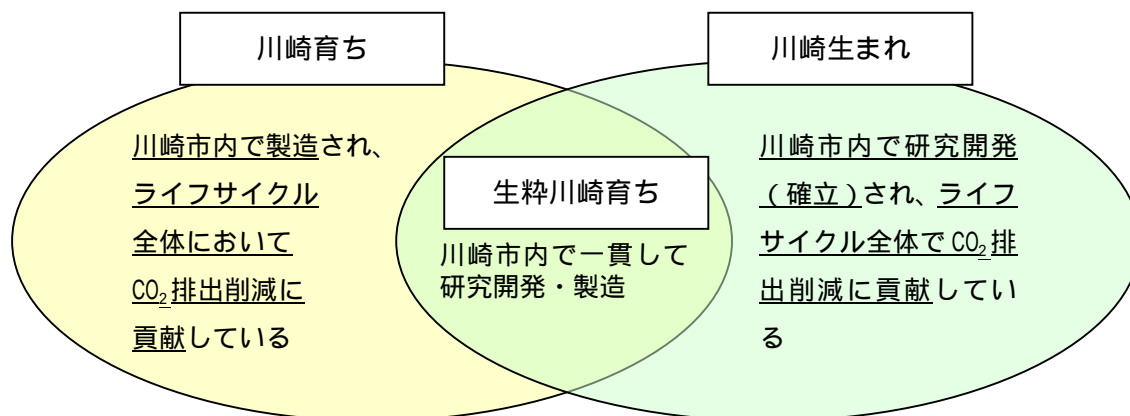
(応募要領)

4. 応募方法

(1) 応募対象

本事業では、「川崎発」の製品、技術、サービス、市民活動を対象とします。

「川崎発」とは、川崎で生まれた、または、川崎で育ったことを意味し、たとえば、製品・技術部門では下記のように名づけて、整理しています。



川崎生まれには、市外・海外に技術移転された「生産プロセス技術」も含まれます。

< 応募対象 >

製品・技術部門	下記のいずれかに該当するもの ・川崎市内に製造事業所があり、川崎市内で製造された製品・技術 ・川崎市内で研究開発された製品・技術 ・川崎市内で確立された生産プロセス技術
サービス部門	川崎市内の事業者によって提供され、市内外のCO ₂ 排出削減に貢献するサービス
市民活動部門	川崎市内で実践または企画され、市民の創意工夫によって市内外のCO ₂ 排出削減に貢献している市民活動

一般消費者向けの製品・サービスはもちろん、産業向け・業務用の製品・サービス（いわゆる B to B）の応募も対象になります。

最終製品の一部における関与であっても、川崎市内の事業所によるCO₂削減への貢献分が評価できれば、応募できます。例えば、省エネ効果のある製品の一部のみを市内で製造している場合、最終製品のCO₂削減量に対するその部品の貢献分を示すことができれば応募できます。

1企業・団体から1部門に2件以上の製品、活動等を応募することも可能です。但し、応募多数の場合、一次審査にて数を限定することがあります。

特許に絡んで係争中のもの、または係争の恐れがあるものは応募できません。

(応募要領)

(2) 応募資格

製品・技術部門

市内に製造または研究開発を行う事業所があり、過去1年以上の操業実績があること。

川崎市内に事業所があっても、業務内容が販売や使用・管理のみの場合は対象とはなりません。

事業者の規模及び業種は問いません。

応募者が重大な法令違反等をかかえている場合は応募できません。

サービス部門

市内にサービスを提供する事業所があり、過去1年以上のサービス提供実績があること。

事業者の規模及び業種は問いません。

応募者が重大な法令違反等をかかえている場合は応募できません。

市民活動部門

市内に活動拠点がある団体（NPO法人、任意団体、学校等を含む）

活動拠点が川崎市内であれば、占有スペースがある必要はありません。

一次審査シートの提出時点で活動実績があれば、活動年数は問いません。

(3) 応募スケジュール

1) 製品・技術部門、サービス部門

応募希望者は、下記のスケジュールで説明会、算定講習会へ参加し、審査シートを提出してください。各審査シートの記入方法については、説明会及び算定講習会でもご説明します。

CO₂川崎ブランドに関する説明会（8月4日（木））

CO₂削減川崎ブランドに関する算定講習会（8月31日（水） 予備日：9月2日（金））

一次審査シートの提出（9月20日（火）締め切り）

算定相談会（9月下旬～10月上旬予定。個別に調整します。）

二次審査シートの提出（11月2日（水）締め切り）

一次審査の応募期間 平成23年7月26日（火）～平成23年9月20日（火） 必着

二次審査の応募期間 平成23年10月3日（月）～平成23年11月2日（水） 必着

2) 市民活動部門

応募希望者は、下記のスケジュールで説明会、算定講習会へ参加し、審査シートを提出してください。各審査シートの記入方法については、説明会及び算定講習会でもご説明します。

CO₂川崎ブランドに関する説明会（8月4日（木））

一次審査シートの提出（9月20日（火）締め切り）

必要に応じ、10月にヒアリングを実施いたします。

(応募要領)

(4) 提出書類

1) 製品・技術部門、サービス部門

一次審査

応募者は、応募案件ごとに、下記の書類について、電子媒体（電子メール送信）及び書面（各 2 部を A4 版でプリントアウトの上、郵送）を提出してください。

< 提出書類一式 >

- 一次審査シート（様式 1 - 1 に必要事項を記入。審査シートの様式は別紙参照）
- 応募案件の概要や仕様を示したパンフレット・説明資料等
- 市民税納税証明書の写し（提出できない場合はご相談ください。）

二次審査

応募者は、応募案件ごとに、下記の書類について、電子媒体（電子メール送信）及び書面（各 2 部を A4 版でプリントアウトの上、郵送）を提出してください。

< 提出書類一式 >

- 二次審査シート（様式 1-2 に必要事項を記入。審査シートの様式は別紙参照。）
- 使用時の消費電力量、寿命の延長（使用回数の増加）など、結果に大きく左右するデータについて根拠となる資料（エビデンス）
- 企業独自のデータベースを使用する際には、主要な原単位について、自ら Simple-LCA のデータベースの値と比較検討し、その取り扱いについての考え方を整理した資料
必要に応じ、CO₂ 削減効果の算定の根拠となる資料の提出を求めることがあります。

2) 市民活動部門

応募者は、応募案件ごとに、下記の書類について、電子媒体（電子メール送信）及び書面（各 2 部を A4 版でプリントアウトの上、郵送）を提出してください。

< 提出書類一式 >

- 審査シート(様式 2)
- 応募案件の概要を示したパンフレット・説明資料等

市民活動部門の審査シートのうち、活動のライフサイクル全体からみた CO₂ 削減効果の記入は任意とします。

(応募要領)

審査シート様式ダウンロード

審査シート様式は下記ホームページから入手できます。

<http://www.k-co2brand.com/>

提出先

(郵送にて)

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町 1 番地

川崎市環境局地球環境推進室 低 CO₂ 川崎パイロットブランド事務局 宛

(電子メールにて)

E-mail : 30titan@city.kawasaki.jp (*30 : 数字で “ 30 ”)

メールが使えない場合は、データを電子媒体に入れて書類とともに郵送してください。

(問い合わせ)

川崎市環境局地球環境推進室 低 CO₂ 川崎パイロットブランド事務局

E-mail : 30titan@city.kawasaki.jp TEL : 044-200-3837 FAX : 044-200-3921

(注) 応募の要件を満たさない方からの申請書類や、不備がある申請書類は、受理できません。

(提出期限までに不備を修正できない場合は、当該申請は無効となります。)

(5) 応募料及び審査料

応募料及び審査料は無料です。但し、申請書類の作成及び応募にかかる費用については、応募者の自己負担となります。

(応募要領)

5. 説明会及び算定講習会について

(1) 低 CO₂川崎パイロットブランドに関する説明会

環境配慮製品や活動に関心のある市民・企業を広く対象とし、ライフサイクル的思考を核とする川崎 CO₂削減モデル、低 CO₂川崎パイロットブランドについて広く周知することを目的とし、下記の通り説明会を開催します。

応募希望者をご出席ください(応募を希望または検討する企業で、当日出席できない場合は、事務局までご連絡ください)。また、説明会への参加は事前の申し込みが必要となります。

日時：	平成 23 年 8 月 4 日 (木) 10:00 ~ 11:30
場所：	ミュージア川崎シンフォニーホール 第一研修室 川崎市幸区大宮町 1310 (JR 川崎駅より徒歩 3 分)
対象部門：	全部門 (製品・技術、サービス、市民活動)
申し込み先：	川崎市環境局地球環境推進室 E-mail : 30titan@city.kawasaki.jp (30: 数字で “ 30 ”)
申し込み方法：	参加を希望される方は、平成 23 年 8 月 2 日 (火) までに、上記宛に、企業・団体名、所属、役職、氏名、連絡先 (E-mail アドレス、電話番号) を明記の上、電子メールにてご登録ください。 登録いただいた方は全て参加可能とし、受付票等の送付はしません。

個人情報の取扱については、12 ページをご覧ください。

(2) 算定講習会

製品・技術部門及びサービス部門の応募希望者を対象に、ライフサイクル全体での CO₂削減効果を算定するための算定講習会を実施します。この算定講習会は、応募希望者が申請書類に記入するためのアドバイスを行うことを目的としていますが、同時に、市内企業の製品等のイノベーション及び競争力の増大を図るため、応募希望者以外の参加も受け付けます。

本講習会は、LCA ソフトをご活用いただくために、PC を持参して参加いただく実践的なものです。応募希望の方は、できる限りご参加くださいますようお願いいたします。また、企業内における算定方法の共有を進めていただくため、できるだけ 2 名で参加されることをお勧めします。

なお、算定講習会への参加は事前の申し込みが必要となります。同じ内容の講習会を 2 回開催しますので、ご希望の回をお選びください。

(応募要領)

第1回	日時：	平成23年8月31日(水) 10:00~15:30(昼食休憩1時間を含む)
	場所：	川崎市産業振興会館第3研修室 川崎市幸区堀川町66番地20 (JR川崎駅東口より徒歩8分)
第2回 (予備日)	日時：	平成23年9月2日(金) 10:00~15:30(昼食休憩1時間を含む)
	場所：	川崎市産業振興会館第1会議室 (同上)
対象部門：	製品・技術部門、サービス部門	
申し込み先：	川崎市環境局地球環境推進室 E-mail: 30titan@city.kawasaki.jp (30: 数字で“30”)	
申し込み方法：	受講を希望される方は、8月24日(水)までに、上記宛に、氏名、連絡先 (E-mailアドレス、電話番号) 職業(所属、役職) パイロットブランド 応募の有無を明記の上、電子メールにてご登録ください。 なお、申込みは1企業につき1回の電子メール送信としてください。受講 希望者が定員を超過した場合には、本制度への応募希望者を優先させてい ただくことがあります。	

個人情報の取扱については、12ページをご覧ください。

6. 審査・選定

(1) 審査体制

低CO₂川崎ブランド事業のあり方を検討するために設置された「低CO₂川崎ブランド企画委員会」において審査・検討を行います。

(2) 審査・選定の方法

1) 製品・技術部門、サービス部門

一次審査

提出された一次審査シートに基づき、下記の基準によって一次審査による選別を行います。必要に応じてヒアリングによる確認を行う場合があります。

- ・ 川崎市内で研究開発(企画)または製造(提供)されていること(必須)
- ・ CO₂削減効果の算定に必要なデータの整備、開示準備がされていること
- ・ 3.に示した選定基準

なお、試行実施である本年度においては、製品・技術・サービスの種類、企業・団体の規模等のバランスを優先して選別を行うことがあります。

二次審査

提出された二次審査シートに基づき、3.で示した選定基準によって審査を行います。必要に応じてヒアリングによる確認及び根拠資料の提出を求める場合があります。

ブランドの承認・選定

低CO₂川崎ブランド企画委員会における助言に基づき、川崎市において審査結果を承認、選定を行います。

(応募要領)

2) 市民活動部門

審査

提出された審査シートに基づき、3. で示した選定基準によって審査を行います。必要に応じてヒアリングによる確認及び根拠資料の提出を求める場合があります。

ブランドの承認・選定

低 CO₂ 川崎ブランド企画委員会における助言に基づき、川崎市において審査結果を承認、選定を行います。

(3) 試行実施結果の公表

選定結果は、平成 24 年 1 月頃に各報道関係者に公表するとともに、ホームページ等で発表します。

選定された製品等、及び市民活動は、平成 24 年 2 月に開催される川崎国際環境技術展において発表します。当該企業・団体の方には、川崎市内外での講演会等で取り組み内容の紹介をお願いすることがあります。

(4) 低 CO₂ 川崎パイロットブランド試行実施結果発表会・表彰式

開催時期：平成 24 年 2 月 川崎国際環境技術展にて実施

出席予定者：川崎市長

7. その他

(1) 低 CO₂ 川崎パイロットブランドマークの使用について

パイロットブランドとして選定された製品等の事業者及び市民活動団体は、当該製品等に低 CO₂ 川崎パイロットブランドを示すマークを選定結果発表日以降表示し、広告等に活用することができます。このマークは、川崎市がその表示権をパイロットブランド事業者に無償で供与するもので、事業者・団体には別途定める使用規定を遵守して、責任を持ってマークを管理していただきます。

(2) 川崎市温暖化防止対策へのご協力について

川崎市の地球温暖化防止対策の推進にあたり、パイロットブランドとして選定された製品や活動等の活動量（製造量や導入量、活動状況など）に関する情報を、今後継続してご提供いただくようご依頼することがあります。その場合には、ご理解ご協力をお願いいたします。

(応募要領)

注意事項

以下の事項について、あらかじめ承諾のうえ、ご応募ください。

申請書類及び審査の過程等で求める資料は返却しません。

申請書類及び審査の過程等で虚偽が判明した場合には、応募を無効とします。

審査経緯及び選定結果に対する異議の申し立てについては、お受けしません。

試行実施結果の公表後に、パイロットブランドとしてふさわしくない事由が判明した場合には、その選定を取り消すことがあります。

守秘義務

申請書類その他の提出書類で知り得た情報については、当該事業の審査以外に利用及び公開はいたしません。申請書類その他の提出書類に係る機密保持には、当事務局において十分配慮致します。なお、選定された場合には不開示情報（個人情報、法人の正当な利益を害する情報等）を除いて情報公開の対象となります。

個人情報の取扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、川崎市の個人情報保護条例等によって保護され、本事業の実施主体である川崎市、また川崎市から本事業の運営等に関する委託を受けた業者以外の第三者に提供することは一切ありません。

環境マネジメントシステムについて

審査シートの応募者概要のページに「環境マネジメントシステム（EMS）の導入状況」を記載する欄を設けています。EMS 導入の有無は、パイロットブランド選定の基準ではありませんが、応募者の環境配慮の状況を把握するため、また、EMS 導入を促すために、記載いただくこととしています。

なお、ISO14001 以外の EMS として、環境省が策定したガイドラインに基づき、審査、認証・登録されるエコアクション 21 があります。エコアクション 21 は、中小事業者等の幅広い団体への普及を目指して作成されており、さまざまな支援制度も充実しています。

パイロットブランドの応募準備と並行してエコアクション 21 導入を進めることもできますので、EMS を構築されていない事業者、団体につきましては、これを機会にどうぞご検討ください。

エコアクションのページ

<http://www.ea21.jp/index.html>

エコアクション地域事務局かながわのページ

<http://www.ea21-kanagawa.org/>

平成23年度 低CO₂川崎パイロットブランド
一次審査シート(製品・技術部門、サービス部門)

応募年月日 平成 年 月 日

応募企業の概要等 ※応募対象がサービスの場合は、「研究開発」を「企画」に、「製造」を「提供」に読みかえて下さい

会社名	
代表者名	
本社所在地	〒
対象製品・技術、サービスの研究開発・製造事業所名(本社の場合は不要)	
上記事業所の所在地	〒
上記事業所の業務内容(簡単に)	
業種	人
上記事業所の従業員数	
応募製品・技術、サービスの内容を把握できるWebサイト	http://
法律違反、係争について ※確認し、○印を記入	() 過去3年間、行政庁等から法令違反の指摘を受けたことがない () 対象製品・技術、サービスについて、特許に絡んだ係争中ではない
環境マネジメントシステム(EMS)の導入状況 ※該当する項目に○印を記入 ※P12ご参照	() ISO14001に基づくEMSを導入している ⇒ 市内導入事業所数() () ISO以外のEMSを導入している ⇒ 規格名() () 現在EMSの構築準備中である () EMSの導入予定はない () その他()
担当者及び担当者連絡先	所属部署 役職 氏名 住所 電話 FAX E-mail

※本書類の添付書類として、「市民税納税証明書」の写しを提出してください。

応募製品・技術、サービスの概要

発売・提供開始年月	年 月
対象となる製品・技術、サービスの名称	
製品・技術、サービスの特徴	
低CO ₂ のポイント (従来製品・技術、サービスに比べ、CO ₂ 等の削減へ貢献している優れた点、先進性、独自性、PRポイントについて、ライフサイクル毎にご記入ください。)	原材料調達段階(物資の調達) 生産段階(サービスの提供) 流通・販売段階(営業・販売)
サービスの場合は()内の段階毎にご記入ください	使用・維持管理段階(アフターサービス) 廃棄・リサイクル段階
川崎市との関わり ※該当する項目に○印を記入	() 応募製品・技術、サービスの研究開発が川崎市内で行われている () 応募製品・技術、サービスの製造が川崎市内で行われている (CO ₂ 削減以外の環境負荷低減効果等)
その他のPRポイント	
製品・技術、サービスの販売(導入)実績 (単位は金額ではなく販売台数等の個数でご記入ください。結構です。本項目の記入は任意とします。)	累計販売(導入)実績 2010年度販売(導入)実績 () 年度販売(導入)見通

CO₂削減効果の概要

製品・技術、サービス機能 ※対象製品・技術、サービスが有する機能、主な性能特性	
機能単位 ※対象製品の機能がある単位で定量したもの	
比較対象(ベースライン)となる製品・技術、サービス	概要 選択理由・根拠
製品・技術、サービスのフロー ※生産が複数の段階に分かれる場合にはサブシステムを含めて図示してください。 ※川崎市内の工程がわかるようにして下さい。	対象製品・技術、サービス
ベースライン ※申請製品・技術、サービスのフローと同じであれば省略可能です。	
システム境界 ※上記のライフサイクルのうち、省略されたプロセスがあれば明記してください。	カットオフ基準

製品・技術、サービスの耐用(使用)年数	製品・技術、サービスにより生産された製品・技術によるCO ₂ 排出量の削減貢献を算定対象とする ※基本は過去1年間に生産された製品・技術によるCO ₂ 排出量の削減貢献を算定対象とする
算定対象期間 算定対象のガス ※該当する項目に○印を記入してください (二酸化炭素の算定は必須とし、その他のガスは任意とします。)	(単位: 年 / その他) (1) 二酸化炭素(CO ₂)のみを算定対象とする (2) 該当する6種類の温室効果ガス全てを算定対象とする (3) 原則、二酸化炭素(CO ₂)を算定対象とした上で、一部のライフサイクルについて、6種類の温室効果ガスを算定対象とする (3)を選択した場合、CO ₂ 以外のガスを算定対象とした段階について具体的に記入してください。 ⇒ () ※6種類の温室効果ガスとは、CO ₂ に加え、メタン(CH ₄)、一酸化二窒素(N ₂ O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFC)、パーフルオロカーボン類(PFC)、六ふっ化硫黄(SF ₆)
データ収集の手順	申請製品・技術、サービス
ベースライン	
算定の手順	

収集データの根拠となる出典資料

データの根拠	
①	
②	
③	
④	

*上記に挙げたデータの根拠となる出典資料(写しも可)を確認することがありますので、お手元に整理・保存しておいてください。

ライフサイクル段階別インプット・アウトプット量(応募対象製品・技術、サービス)

項目		収集データ	出典*
インプット			
アウトプット			

*「データの根拠となる出典資料」に挙げた資料の番号を記入してください。以下同じ。

< 生産段階(サービスの提供) >

項目		収集データ	出典*
インプット			
アウトプット			

< 流通・販売段階(営業・販売) >

項目		収集データ	出典*
インプット			
アウトプット			

< 使用・維持管理段階(アフターサービス) >

項目		収集データ	出典*
インプット			
アウトプット			

< 廃棄・リサイクル段階 >

項目		収集データ	出典*
インプット			
アウトプット			

ライフサイクル段階別インプット・アウトプット量(ベースライン製品・技術、サービス)

< 原材料調達段階(物資の調達) >

項目		収集データ	出典*
インプット			
アウトプット			

*「データの根拠となる出典資料」に挙げた資料の番号を記入してください。以下同じ。

平成23年度 低CO₂川崎パイロットブランド
一次審査シート(製品・技術部門、サービス部門)

応募年月日 平成 23 年 8 月 31 日

※応募対象がサービスの場合は、「研究開発」を「企画」に、「製造」を「提供」に読みかえて下さい

会社名	株式会社川崎			
代表者名	川崎 太郎			
本社所在地	〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地			
対象製品・技術、サービスの研究開発・製造事業所名 (本社の場合は不要)	同上			
上記事業所の所在地	〒 同上			
上記事業所の業務内容 (簡単に)	アイロン、ドライヤー等の小型電気製品の製造			
業種	電気機器製造業	上記事業所の従業員数	300 人	
応募製品・技術、サービスの内容を把握できるWebサイト	http:// www.kawasaki			
法律違反、係争について 確認し、○印を記入	() 過去3年間、行政庁等から法令違反の指摘を受けたことがない () 対象製品・技術、サービスについて、特許に絡んだ係争中ではない			
環境マネジメントシステム(EMS)の導入状況 ※該当する項目に○印を記入 ※P12ご参照	() ISO14001に基づくEMSを導入している ⇒ 市内導入事業所数(3) () ISO以外のEMSを導入している ⇒ 親格名() () 現在EMSの構築準備中である () EMSの導入予定はない () その他()			
担当者及び 担当者連絡先	所属部署	環境部	役職	係長
	氏名	川崎 次郎		
住所	〒 同上			
電話	044-200-2111	FAX	044-200-2111	
E-mail	***@kawasaki.jp			

※本書類の添付書類として、「市民税納税証明書」の写しを提出してください。

応募製品・技術、サービスの概要

発売・提供開始年月	2007 年	4 月
対象となる製品・技術、サービスの名称	コードレススチームアイロンXX01	
製品・技術、サービスの特徴	コードレススチームアイロンXX01は、スチームカバー率(スチームカバー率/かけ面寸法)を2倍とすることで、本体をコンパクト化し、原材を削減した他、使用時の電力消費を削減している。	
低CO ₂ のポイント (従来製品・技術、サービスに比べ、CO ₂ 等の削減へ貢献している優れた点、先進性、独自性、PRポイントについて、ライフサイクル毎にご記入ください。) サービスの場合は()内の段階毎にご記入ください。)	原材料調達段階(物資の調達)	本体をコンパクト化し、従来比10%の原材削減を実現。包装緩衝材を、発泡スチロールから古紙利用に変更。
	生産段階(サービスの提供)	組み立てプロセスで、従来比5%の省エネルギーを実現。
	流通・販売段階(営業・販売)	本体のコンパクト化により、流通にかかるエネルギー消費を削減。
	使用・維持管理段階(アフターサービス)	スチームカバー率を2倍とすることで、スチーム時の電力消費を削減。自動電源オフ機能により、使用時の電源切り忘れによる電力消費を削減。
	廃棄・リサイクル段階	耐熱性・耐久性に優れた素材を採用し、製品の長寿命化を実現。
川崎市との関わり ※該当する項目に○印を記入	() 応募製品・技術、サービスの研究開発が川崎市内で行われている () 応募製品・技術、サービスの製造が川崎市内で行われている (CO ₂ 削減以外の環境負荷低減効果等)	
その他のPRポイント		
製品・技術、サービスの販売(導入)実績 (単位は金額ではなく販売台数等の個数でご記入ください。本項目の記入は任意とします。)	累計販売(導入)実績	12,000台
	2010年度販売(導入)実績	6,000台
	(2011) 年度販売(導入)見通し	7,000台

(様式1-1): 製品・技術部門、サービス部門 (記入例)

CO ₂ 削減効果の概要	
製品・技術、サービスの機能 ※対象製品・技術、サービスが有する機能、主な性能特性	衣服のアイロン掛け
機能単位 ※対象製品の機能がある単位で定量化したもの	1日15分、5年間の衣服のアイロン掛け
比較対象(ベースライン)となる製品・技術、サービス	対象製品 (xx02) の前機種であるコードレススチeamアイロン XX01 (2005年発売)
選択理由・根拠	対象製品 (xx02) の前機種に相当し、同程度の出力、同程度の機能を有する。
製品・技術、サービスのフロ－ ※生産が複数の段階に分かれる場合にはサブシステムを含めて図示してください。 ※川崎市内での工程がわかるよう、下記に下さい。	
製品・技術、サービスの機能 ※対象製品・技術、サービスが有する機能、主な性能特性	ベースライン ※申請製品・技術、サービスのフローと同じであり、省略可能です。
システム境界 ※上記のライフサイクルのうち、省略されたプロセスがあれば明記してください。	上記二重線の枠内をシステム境界とし、素材製造から部品製造、組立、使用、廃棄までを含める。但し間接部門(研究開発、事務、営業)の影響は含まない。スクラップは環境負荷ゼロシステムに入り、同様に回収されたスクラップは環境負荷ゼロでシステムの外に出るとして評価する。 カットオフ基準 製品重量で3%未満の部材をカットオフする。

(様式1-1): 製品・技術部門、サービス部門 (記入例)

製品・技術、サービスの耐用(使用)年数	5	単位: () 年 () その他 ()
算定対象期間	※基本は過去1年間に生産された製品・技術によるCO ₂ 排出量の削減量を算定対象とする 過去1年間(2008年4月1日～2009年3月31日)における川崎工場からの出荷	
算定対象のガス ※該当する項目に○印を記入してください (二酸化炭素の算定は必須とし、その他のガスは任意とします。)	(1) 二酸化炭素(CO ₂)のみを算定対象とする (2) 該当する6種類の温室効果ガス全てを算定対象とする (3) 原則、二酸化炭素(CO ₂)を算定対象とした上で、一部のライフサイクルについて、6種類の温室効果ガスを算定対象とする (3) を選択した場合、CO ₂ 以外のガスを算定対象とした段階について具体的に記入してください。 ⇒ ()	
データ収集の手順	申請製品・技術、サービス	※6種類の温室効果ガスとは、CO ₂ に加え、メタン(CH ₄)、一酸化二窒素(N ₂ O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFC)、ハエフルオロカーボン類(PFC)、六ふっ化硫黄(SF ₆) 「樹脂部品成形工程」: 調達先における使用量をヒアリングにより収集。 「アルミダイカスト工程」: 使用量は実測値。歩留まり不明。 「アイロン組み立て工程」: 川崎工場における、コンプレッサー、照明、空調による電力消費の実測値。合計値を製品個数で配分。 「流通段階」: 代表的な製品の輸送距離を元に、仮定。 「使用段階」: 設定値より標準的な仕様シナリオを設定。 「廃棄段階」: シュレッダーによる破砕は聞き取り調査。 その他、ハイメタル、スイッチ接点、制御基盤は、素材構成が不明であり、取引先へのヒアリングにより有効な回答が得られなかったため、調査より除外した。
	ベースライン	「樹脂部品成形工程」: 対象製品の10%増と仮定。 「アルミダイカスト工程」: 対象製品の10%増と仮定。 「アイロン組み立て工程」: 2006年度、川崎工場における、電力消費量の実測値。合計値を製品個数で配分。 「廃棄段階」: 対象製品の10%増と仮定。 その他は、対象製品と同じ。
算定の手順	申請製品及びベースライン製品につき、Simple-LCAを用い、1製品あたりのLCCO ₂ を算定し、その差に期間中の出荷量を乗じて、年間のLCCO ₂ 排出削減量を算定。	

収集データの根拠となる出典資料

データの根拠
① 当社川崎工場における実測値
② 調達先A社 (樹脂部品成型)からの聞き取り
③ 調達先B社 (アルミダイカスト)からの聞き取り
④ 自身体からの聞き取り
⑤ 当社による仮定 (標準的な製品の製造、流通、使用に関するデータ)
⑥ Simple-LCA
⑦ J/LCA-DB (LCA日本フォーラムデータベース(2007年度第一版))

*上記に挙げたデータの根拠となる出典資料(写しも可)を確認することがありますので、お手元に整理・保存しておいてください。

ライフサイクル段階別インプット・アウトプット量 (応募対象製品・技術、サービス)

項目	収集データ	(単位)	出典*
<樹脂部品成型>	0.35	kg	②
ABS樹脂			
<樹脂部品成型>	0.3	kWh	②
電力			
<アルミダイカスト>	0.7	kg	③
アルミ二次地金			
<アルミダイカスト>	0.72	kWh	⑦
電力			
<アルミダイカスト>	31.9	g	⑦
LPG			

*「データの根拠となる出典資料」に挙げた資料の番号を記入してください。以下同じ。

<生産段階 (サービスの提供) >

項目	収集データ	(単位)	出典*
<アイロン組み立て>	0.3	kWh	①
電力			
製品			
(スチームアイロン)			

<流通・販売段階 (営業・販売) >

項目	収集データ	(単位)	出典*
<樹脂部品成型>	0.06	tkm	⑤
トラック輸送 (4t車)			
<アルミダイカスト>	0.98	tkm	⑤
コンテナ船<4000TEU			
<アイロン組み立て>	0.2	tkm	⑤
トラック輸送 (4t車)			

<使用・維持管理段階 (アフターサービス) >

項目	収集データ	(単位)	出典*
電力	304	kWh	⑤
インプット			
水道水	91	kg	⑤

<廃棄・リサイクル段階 >

項目	収集データ	(単位)	出典*
破碎	1	kg	④
インプット			
埋立	0.3	kg	④

ライフサイクル段階別インプット・アウトプット量 (ベースライン製品・技術、サービス)

<原材料調達段階 (物資の調達) >

項目	収集データ	(単位)	出典*
<樹脂部品成型>	0.365	kg	②
ABS樹脂			
<樹脂部品成型>	0.33	kWh	②
電力			
<アルミダイカスト>	0.77	kg	③
アルミ二次地金			
<アルミダイカスト>	0.792	kWh	⑦
電力			
<アルミダイカスト>	35.09	g	⑦
LPG			

*「データの根拠となる出典資料」に挙げた資料の番号を記入してください。以下同じ。

＜生産段階(サービスの提供)＞			
項目	収集データ	(単位)	出典*
インプット ＜アイロン組み立て＞ 電力	0.3	kWh	①
アウト プット 製品 (スチームアイロン)	—	—	
＜流通・販売段階(営業・販売)＞			
項目	収集データ	(単位)	出典*
インプット ＜樹脂部品成型＞ トラック輸送(4車)	0.06	tkm	⑤
インプット ＜アルミダイカスト＞ コンテナ船<4000TEU	0.98	tkm	⑤
アウト プット ＜アイロン組み立て＞ トラック輸送(4車)	0.2	tkm	⑤
＜使用・維持管理段階(アフターサービス)＞			
項目	収集データ	(単位)	出典*
インプット 電力	334.4	kWh	⑤
水道水	91	kg	⑤
＜廃棄・リサイクル段階＞			
項目	収集データ	(単位)	出典*
インプット 破砕	1.1	kg	④
埋立	0.33	kg	④

【提出期限】平成23年7月26日から平成23年9月20日まで ※必着
【提出方法】本審査シート、応募案件の概要や仕様を示したパンフレット・説明資料等、及び市民税納税証明書の写しの3点について、電子媒体(電子メール送信)及び書面(各2部をプリントアウトの上、郵送)を下記に提出 (詳細は応募要領をご参照ください)
【提出先】川崎市環境局地球環境推進室
Eメール: 30titan@city.kawasaki.jp (*30: 数字で"30")
電話: 044-200-3837 FAX: 044-200-3921

平成23年度 低CO₂川崎パイロットブランド
二次審査シート(製品・技術部門、サービス部門)

応募年月日 平成 年 月 日

応募企業の概要等 ※応募対象がサービスの場合は、「研究開発」を「企画」に、「製造」を「提供」に読みかえて下さい

会社名		
代表者名		
本社所在地	〒	
所属部署		役職
	氏名	
担当者及び 担当者連絡 先	住所	〒
	電話	FAX
E-mail		

応募製品・技術、サービスの概要

対象となる製品・技術、サービスの名称	
上記の英語名称 ※選定された際に、紹介資料等において掲載します	
製品・技術、サービスの概要	
製品・技術、サービスの機能 ※対象製品・技術、サービスが有する機能、主な性能特性	
機能単位 ※対象製品の機能がある単位で定量化したもの	
対象製品・技術、サービス	
製品・技術、サービスのフロー ※生産が複数の段階に分かれる場合にはサブシステムを含めて図示してください。 ※川崎市内での工程がわかるようして下さい。	ベースライン ※申請製品・技術、サービスのフローと同じであれば省略可能です。
最終製品のCO ₂ 削減に対する当該製品・技術の寄与率 ※製品・技術が最終製品ではなく、その一部を構成する製品・技術の場合のみ。	寄与率設定の考え方 寄与率

収集データの根拠となる出典資料

データの根拠	
①	
②	
③	
④	
GHG換算係数の出典	
a	
b	
c	
d	

*使用時の消費電力量、寿命の延長(使用回数の増加)など、結果に大きく左右するデータについては、根拠となる資料(エビデンス)を添付ください。
 *企業独自のデータベースを使用する際には、主要な原単位について、自らSimple-LCAのデータベースと比較検討し、その取り扱いについての考え方を整理した資料を添付ください。
 *上記に挙げたデータの根拠となる出典資料(写しも可)を確認することがありますので、お手元に整理・保存しておいてください。

ライフサイクル段階別CO₂排出量(応募対象製品・技術、サービス)

< 原材料調達段階(物資の調達) >

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*
インプット					
アウトプット					
合計					

*「データの根拠となる出典資料」に挙げた資料の番号を記入してください。以下同じ。

< 生産段階(サービスの提供) >

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*
インプット					
アウトプット					
合計					

< 流通・販売段階(営業・販売) >

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*
インプット					
アウトプット					
合計					

< 使用・維持管理段階(アフターサービス) >

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*
インプット					
アウトプット					
合計					

< 廃棄・リサイクル段階 >

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*
インプット					
アウトプット					
合計					

(様式1-2): 製品・技術部門、サービス部門(記入例)

平成23年度 低CO₂川崎パイロットブランド
二次審査シート(製品・技術部門、サービス部門)

応募年月日 平成 23 年 10 月 1 日

応募企業の概要等 ※応募対象がサービスの場合は、「研究開発」を「企画」に、「製造」を「提供」に読みかえて下さい

会社名	株式会社川崎		
代表者名	川崎 太郎	役職	係長
本社所在地	〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地		
所属部署	環境部	役職	係長
氏名	川崎 次郎		
住所	〒 同上		
電話	044-200-2111	FAX	044-200-2111
E-mail	***@kawasakijp		

(様式1-2): 製品・技術部門、サービス部門(記入例)

応募製品・技術、サービスの概要

対象となる製品・技術、サービスの名称	コードレススチームアイロンXX01
上記の英語名称	cordless steam iron XX01
※選定された際に、紹介資料等において掲載します	
製品・技術、サービスの概要	コードレススチームアイロンXX01は、スチームカバー革(スチームカバー寸法/かけ面寸法)を2倍とすることで、本体をコンパクト化し、樹脂及びビアルミの使用量を削減している。
製品・技術、サービスの機能	衣服のアイロン掛け
※対象製品・技術、サービスが有する機能、主な性能特性	
機能単位	
※対象製品の機能のある単位で定量化したもの	1日15分、5年間の衣服のアイロン掛け
製品・技術、サービスのフロー	
※生産が複数の段階に分かれる場合にはサブシステムを含めて図示してください。 ※川崎市内での工程がわかるようにして下さい。	対象製品・技術、サービス
ベースライン	同上
※申請製品・技術、サービスのフローと同一であれば省略可能です。	
最終製品のCO ₂ 削減に対する当該製品・技術の寄与率	寄与率設定の考え方は
※製品・技術が最終製品ではなく、その一部を構成する製品・技術の場合のみ。	寄与率

(様式1-2): 製品・技術部門、サービス部門(記入例)

収集データの根拠となる出典資料

データの根拠	
①	当社川崎工場における実測値
②	調達先A社(樹脂部品成型)からの聞き取り
③	調達先B社(アルミダイカスト)からの聞き取り
④	自治体からの聞き取り
⑤	当社による販定(標準的な製品の製造、流通、使用に関するデータ)
⑥	Simple-LCA
⑦	JLCA-DB (LCA日本フォワーダーデータベース(2007年度第一版))
GHG換算係数の出典	
a	Simple-LCA
b	JLCA-DB (LCA日本フォワーダーデータベース(2007年度第一版))
c	
d	

*上記に挙げたデータの根拠となる出典資料(写しも可)を確認することがありますので、お手元に整理・保存しておくください。

ライフサイクル段階別CO₂排出量(応募対象製品・技術、サービス)

＜原材料調達段階(物資の調達)＞						
項目	収集データ(単位)	GHG係数(単位)	CO ₂ 排出量(g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*	
インプット	<樹脂部品成型> ABS樹脂	0.35 kg	XX gCO ₂ /kg	XX	②	a
	<樹脂部品成型> 電力	0.3 kWh	XX gCO ₂ /kWh	XX	②	a
	<アルミダイカスト> アルミニウム地金	0.7 kg	XX gCO ₂ /kg	XX	③	b
	<アルミダイカスト> 電力	0.72 kWh	XX gCO ₂ /kWh	XX	⑦	a
合計	<アルミダイカスト> LPG	31.9 g	XX gCO ₂ /g	XX	⑦	a
合計			XX			

*データの根拠となる出典資料に挙げた資料の番号を記入してください。以下同じ。

＜生産段階(サービスの提供)＞

項目	収集データ(単位)	GHG係数(単位)	CO ₂ 排出量(g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*	
インプット	<アイロン組み立て> 電力	0.3 kWh	XX gCO ₂ /kWh	XX	①	a
アウト	製品 (スチームアイロン)	—	—	—	—	—
合計			XX			

(様式1-2): 製品・技術部門、サービス部門(記入例)

＜流通・販売段階(営業・販売)＞

項目	収集データ(単位)	GHG係数(単位)	CO ₂ 排出量(g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*
インプット	<樹脂部品成型> トラック輸送(4車)	XX gCO ₂ /tkm	XX	⑤	a
	<アルミダイカスト> コンテナ船<4000TEU>	XX gCO ₂ /tkm	XX	⑤	a
	<アイロン組み立て> トラック輸送(4車)	XX gCO ₂ /tkm	XX	⑤	a
合計			XX		

＜使用・維持管理段階(アフターサービス)＞

項目	収集データ(単位)	GHG係数(単位)	CO ₂ 排出量(g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*
インプット	電力	XX gCO ₂ /kWh	XX	⑤	a
合計	水道水	XX gCO ₂ /kg	XX	⑤	a
合計			XX		

＜廃棄・リサイクル段階＞

項目	収集データ(単位)	GHG係数(単位)	CO ₂ 排出量(g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*
アウト	破砕	XX gCO ₂ /kg	XX	④	a
合計	埋立	XX gCO ₂ /kg	XX	④	a
合計			XX		

ライフサイクル段階別CO₂排出量(ベースライン製品・技術、サービス)

＜原材料調達段階(物資の調達)＞

項目	収集データ(単位)	GHG係数(単位)	CO ₂ 排出量(g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*	
インプット	<樹脂部品成型> ABS樹脂	0.385 kg	XX gCO ₂ /kg	XX	⑤	a
	<樹脂部品成型> 電力	0.33 kWh	XX gCO ₂ /kWh	XX	⑤	a
	<アルミダイカスト> アルミニウム地金	0.77 kg	XX gCO ₂ /kg	XX	⑤	b
	<アルミダイカスト> 電力	0.792 kWh	XX gCO ₂ /kWh	XX	⑤	a
合計	<アルミダイカスト> LPG	35.09 g	XX gCO ₂ /g	XX	⑤	a
合計			XX			

*データの根拠となる出典資料に挙げた資料の番号を記入してください。以下同じ。

(様式1-2): 製品・技術部門、サービス部門(記入例)

＜生産段階(サービスの提供)＞

項目	収集データ(単位)	GHG係数(単位)	CO ₂ 排出量(g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*
インプット ＜アイロン組み立て＞ 電力	0.3 kWh	XX gCO ₂ /kWh	XX	⑤	a
アウト 製品 (スチームアイロン)	—	—	—	—	—
合計			XX		

＜流通・販売段階(営業・販売)＞

項目	収集データ(単位)	GHG係数(単位)	CO ₂ 排出量(g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*
＜樹脂部品成型＞ トラック輸送(4t車)	0.06 tkm	XX gCO ₂ /tkm	XX	⑤	a
＜アルミダイカスト＞ コンテナ船<4000TEU>	0.98 tkm	XX gCO ₂ /tkm	XX	⑤	a
＜アイロン組み立て＞ トラック輸送(4t車)	0.2 tkm	XX gCO ₂ /tkm	XX	⑤	a
合計			XX		

＜使用・維持管理段階(アフターサービス)＞

項目	収集データ(単位)	GHG係数(単位)	CO ₂ 排出量(g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*
電力	334.4 kWh	XX gCO ₂ /kWh	XX	⑤	a
水道水	9l kg	XX gCO ₂ /kg	XX	⑤	a
合計			XX		

＜廃棄・リサイクル段階＞

項目	収集データ(単位)	GHG係数(単位)	CO ₂ 排出量(g-CO ₂)	データ出典*	GHG出典*
破砕	1.1 kg	XX gCO ₂ /kg	XX	④	a
埋立	0.33 kg	XX gCO ₂ /kg	XX	④	a
合計			XX		

(様式1-2): 製品・技術部門、サービス部門(記入例)

算定結果

	算定式	算定結果
1機能あたり CO ₂ 排出削減量	ベースライン製品LCCO ₂ -対象製品LCCO ₂	XX g ⁻ CO ₂ 、 CO ₂ -eq
CO ₂ 排出削減率	(ベースライン製品LCCO ₂ -対象製品LCCO ₂)/ ベースライン製品LCCO ₂	XX %
1年間のCO ₂ 排出削減量 ※記入は任意です	(ベースライン製品LCCO ₂ -対象製品LCCO ₂) x年間出荷量	XX g ⁻ CO ₂ 、 CO ₂ -eq

【提出期限】平成23年10月3日から平成23年11月2日まで ※必着
【提出方法】電子媒体(電子メール送信)及び書面(各2部をプリントアウトの上、郵送)を下記に提出
(詳細は応募要領をご参照ください)
【提出先】川崎市環境局地球環境推進室
Eメール: 30titan@city.kawasaki.jp (*30: 数字で"30")
電話: 044-200-3837 FAX: 044-200-3921

平成23年度 低CO₂川崎パイロットブランド
審査シート(市民活動部門)

応募年月日 平成 年 月 日

応募企業の概要等

団体名				
代表者名				
設立目的				
活動内容				
設立年月	活動開始	年	月	日
	組織設立	年	月	日
スタッフの人数	専任スタッフ	人		
	兼任スタッフ	人		
住所 (団体の事務所や占有スペースがある場合のみ)	〒			
団体のWebサイト (該当する場合のみ)	http://			
環境マネジメントシステム(EMS)の導入状況 ※該当する項目に○印を記入 ※P12ご参照	<input type="checkbox"/> ISO14001に基づくEMSを導入している ⇒ 市内導入事業所数() <input type="checkbox"/> ISO以外のEMSを導入している ⇒ 規格名() <input type="checkbox"/> 現在EMSの構築準備中である ()EMSの導入予定はない <input type="checkbox"/> その他()			
担当者及び 担当者連絡先	所属	役職		
	氏名			
住所	〒			
	電話	FAX		
上記連絡先として 該当するものに○	() 事務所等	()	自宅	
E-mail				
法律違反、係争について ※確認し、○印を記入	<input type="checkbox"/> 過去3年間、行政庁等から法令違反の指摘を受けたことがない <input type="checkbox"/> その他、係争中の事業を有していない			
川崎市との関わり ※該当する項目に○印を記入 してください	<input type="checkbox"/> 過去に、川崎市内で活動を企画し、実施したことがある <input type="checkbox"/> 現在、川崎市内で活動を実施している			

応募する活動の概要

活動の名称			
上記の英語名称 ※選定された際に、紹介資料 等において掲載します			
活動の概要 (団体の活動内容を記入 するのではなく、今回応募する 活動を特定した上で、説明して ください)			
活動によってたらされる CO ₂ 削減の概要 (ごみ排出量の削減によるCO ₂ 削減、セミナー受講者による家 庭での省エネ、地産地消イベン ト参加者による購入行動の変 化によるCO ₂ 削減など、活動に よる効果をできるだけ具体的に 示してください。複数ある場合 は、各々の内容を記入してくだ さい)			
活動の実績 (年間のセミナー受講者の数、 イベント参加者数、開催回数、 アンケート結果など、できるだ け定量的に示してください)			
活動の開始時期	年	月	
上記活動に関する 平成23年度の予定			
参加者の拡大、効果的な活動 等に向けた工夫・改善			
活動の継続性 (今後も活動を維持・継続して いくために工夫していることが あれば記入してください)			
活動による国際的な貢献 (該当する場合)			
活動による地域の活性化等 の副次的効果 (例)地域の様々な組織との関 係の強化、地域商店の活性化 など			
その他のPRポイント (CO ₂ 削減以外の環境負荷低 減効果等)			

CO₂削減効果の把握

把握で きた環 境負 荷	() CO ₂ 排出量 () CO ₂ 以外の温室効果ガス () エネルギー使用量 () 資源(エネルギー以外)の使用量 () 廃棄物の排出量 () その他() ※環境負荷の物量ではなく、自然保全面積、環境配慮製品等の販売額等、 活動実績の定量化でも結構です。
活動に伴う効果の把握 (活動による効果を得 るだけ定量化する ことを目的に、分 範囲で記入してくだ さい)	前提とし た条件 (比較対 象、算定 範囲、参 考とした 資料等)
効果の 算定結 果 (単位)	

活動のライフサイクルからみた評価

活動の 準備	投入される 資源やエネ ルギー	排出される 資源等	環境負荷の状況 (資源やエネルギー消費、廃棄 物排出等を書き出してくだ さい)	環境負荷低減の取り組み (効率化や節約が主目的で、 結果的に環境保全にもつなが る工夫・改善でも結構です)
活動時	投入される 資源やエネ ルギー	排出される 資源等		
活動後	投入される 資源やエネ ルギー	排出される 資源等		

活動のライフサイクル全体からみたCO₂削減効果(任意)

ライフサイクル全体からみたCO₂削減効果を算定される場合は、本審査シートの最後にある「ライフサイクル
排出量計算シート」をご活用の上、算定結果を記入してください。

CO ₂ 排出削減量	単位()
CO ₂ 排出削減率	%

今後の活動

今後、活動を拡大した
り、
改善・工夫したりする計
画が
あれば、記載ください。

CO₂削減効果を検討した感想

本事業への応募を通じ
て、ライフサイクルでの
CO₂削減の観点から目
身の活動を振り返り、得
られた効果や感想につ
いて、記載ください。

【提出期限】平成23年7月26日から平成23年9月20日まで ※吹着
【提出方法】電子媒体(電子メール送信)及び書面(各2部をプリントアウトの上、郵送)を下記に提出
(詳細は応募要領をご参照ください)
川崎市環境局地球環境推進室
【提出先】 Eメール: 30hitan@city.kawasaki.jp (*30: 数字で"30")
電話: 044-200-3837 FAX: 044-200-3921

ライフサイクル段階別CO₂排出量の計算シート(記入は任意です)
活動に伴うCO₂排出量

<活動の準備>

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)
インプット			
アウトプット			
合計			

<活動時>

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)
インプット			
アウトプット			
合計			

<活動後>

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)
インプット			
アウトプット			
合計			

ベースラインのCO₂排出量

<活動の準備>

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)
インプット			
アウトプット			
合計			

<活動時>

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)
インプット			
アウトプット			
合計			

<活動後>

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)
インプット			
アウトプット			
合計			

平成23年度 低CO₂川崎パイロットブランド
審査シート(市民活動部門)

応募年月日 平成 年 月 日

応募企業の概要等

団体名	NPO法人かわさき市民活動		
代表者名	川崎 太郎		
設立目的	使い捨て社会から資源を有効利用する社会への変革を進め、環境保全に貢献すること。		
活動内容	スポーツイベント、市民イベントにおけるリユース容器の導入		
設立年月	活動開始	2005年4月頃	2008年4月
スタッフの人数	専従スタッフ	1	人
	兼任スタッフ	10	人
住所 (団体の事務所や占有スペースがある場合のみ)	〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地		
団体のWebサイト (該当する場合のみ)	http://www.kawasaki		
環境マネジメントシステム(EMS)の導入状況 ※該当する項目に○印を記入 ※P12ご参照	<input type="checkbox"/> ISO14001に基づくEMSを導入している ⇒ 市内導入事業所数() <input type="checkbox"/> ISO以外のEMSを導入している ⇒ 規格名(エコアクション2) <input type="checkbox"/> 現在EMSの構築準備中である ()EMSの導入予定はない <input type="checkbox"/> その他()		
担当者及び担当者連絡先	所属	NPO法人かわさき市民活動	
	氏名	川崎 次郎	役職 事務局長
住所	〒		
	同上		
電話	044-200-2111	FAX	044-200-2111
	上記連絡先として該当するものに○印を記入	<input type="checkbox"/> 事務所等 () 自宅 <input type="checkbox"/> ***@kawasaki.jp	
法律違反、係争について ※確認し、○印を記入	<input type="checkbox"/> 過去3年間、行政庁等から法令違反の指摘を受けたことがない <input type="checkbox"/> その他、係争中の事業を有していない		
川崎市との関わり ※該当する項目に○印を記入してください	<input type="checkbox"/> 過去に、川崎市内で活動を企画し、実施したことがある <input type="checkbox"/> 現在、川崎市内で活動を実施している		

応募する活動の概要

活動の名称	スポーツイベントにおけるリユースカップ導入	
上記の英語名称 ※選定された際に、紹介資料等において掲載します	Promoting Returnable Cup in the Stadium	
活動の概要 (団体の活動内容を記入するのではなく、今回応募する活動を特定した上で、説明してください)	川崎市XX競技場で開催されるスポーツイベントで使用される紙カップを削減するため、競技場との協力により、リユースカップを導入した。当団体は、外部事業者への委託により、ホリプロロビン製リユースカップの製造、競技場までの搬入、使用済みカップの輸送、洗浄を実施した。	
活動によってもたらされるCO ₂ 削減の概要 (ごみ排出量の削減によるCO ₂ 削減、セミナー受講者による家庭での省エネ、地産地消イベント参加者による購入行動の変化によるCO ₂ 削減など、活動による効果をできるだけ具体的に示してください。複数ある場合は、各々の内容を記入してください)	①リユースカップの販売を通じて、紙コップの使用量・廃棄量を削減し、紙コップの製造や廃棄に伴うCO ₂ 排出量を削減した。 ②イベント開催日にはスコアボードでの案内や場内アナウンス、ポスターの掲示等を使って、資源の有効利用やCO ₂ 削減の啓発を行った。リユースカップの利用者の他にも、多くの来場者に対する環境意識の啓発につながったと思われる。	
活動の実績 (年間のセミナー受講者の数、イベント参加者数、開催回数、アンケート結果など、できるだけ量的に示してください)	①2009年4月から2010年3月までの1年間に、計10回実施し、のべ5000個のリユースカップを販売、リユースカップの回収率は90%、イベント実施日の競技場全体の来場者1人あたり廃棄物排出量は、平均10% (3g) 減少した。 ②10回のスポーツイベントの総来場者数はのべ15000人。	
活動の開始時期	2008年	8月
上記活動に関する平成23年度の予定	2010年度に10回程度を予定	
参加者の拡大、効率的な活動等に向けた工夫・改善	競技場の協力により、スコアボードでの案内や場内アナウンスを使ってカップの分別回収を呼びかけ、高い回収率を維持している。	
活動の継続性 (今後も活動を維持・継続していくために工夫していることがあれば記入してください)	カップの分別回収の呼びかけには多くの人手を要するが、来場者だけでなく幅広い市民への広報に努めた結果、賛同者を増やし、イベント時のボランティアを安定的に確保できるようになった。	
活動による国際的な貢献 (該当する場合)	特になし	
活動による地域の活性化等の副次的効果 (例)地域の様々な組織との関係の強化、地域商店の活性化など	この取り組みが新聞記事に取り上げられたことをきっかけに、川崎市内の事業者から、カップの洗浄や保管等への協力が得られるようになった。	
その他のPRポイント (CO ₂ 削減以外の環境負荷低減効果等)	使い捨ての紙カップを減らすことで、川崎市内のごみ処理量の削減に貢献している。	

今後の活動	<p>2011年秋からは、リユースカップを導入する競技場を2箇所増加する。また、ポリプロピレンカップの製造・輸送・洗浄に伴う環境負荷を減らすため、カップの洗浄拠点として、川崎市内の事業者との連携を計画している。</p> <p>今後、活動を拡大したり、改善工夫した計画が、掲載できれば、記載ください。</p>
--------------	---

CO₂削減効果を検討した感想	<p>本事業への応募を通じて、本活動のライフサイクルでのCO₂削減効果を確認した結果、洗浄のための輸送に伴うCO₂排出量が大きいことを改めて認識し、身の活動を振り返り、今度は洗浄拠点を近くに設け、洗浄のための輸送量を減らしていく予定である。</p> <p>本事業への応募を通じ、ライフサイクルでのCO₂削減の観点から自身の活動を振り返り、得られた効果や感想について、記載ください。</p>
----------------------------------	---

提出期限 平成23年7月26日から平成23年9月20日まで ※必着
 【提出方法】電子媒体(電子メール送信)及び書面(各2部をプリントアウトの上、郵送)を下記に提出
 (詳細は応募要領をご参照ください)
 【提出先】川崎市環境局地球環境推進室
 Eメール: 30hitan@city.kawasaki.jp (*30, 数字で"30")
 電話: 044-200-3837 FAX: 044-200-3921

CO₂削減効果の把握	<p>() CO₂排出量 () CO₂以外の温室効果ガス () エネルギー使用量 () 資源(エネルギー以外)の使用量 () 廃棄物の排出量 () その他 ※環境負荷の物量ではなく、自然保全面積、環境配慮製品等の販売額等、活動実績の定量化でも結構です。</p>
把握した環境負荷	<p>リユースカップの販売を行わず、代わりに同量の紙コップが使用、廃棄される状況(500ml飲料用の使い捨て紙コップを100km離れた工場から輸送し、使用後はすべて焼却処理)と比較する。 川崎市X競技場でのイベント1回あたり、X×個のカップをリユースする。 資源採取から素材製造、充填、流通、廃棄までを対象とする。 リユースカップについては、300km離れた工場から宅急便で輸送することとし、同工場において実施する回収後の洗浄も範囲に含める。</p>
活動に伴う効果の把握	<p>前提とした条件(比較対象、算定範囲、参資料等) イベント1回あたり X× CO₂-t 削減 X× %削減</p>

活動のライフサイクルからみた評価		環境負荷の状況(資源やエネルギー消費、廃棄物排出等を書き出してください)	環境負荷低減の取り組み(効率化や節約が主目的で、結果的に環境保全にもつながらない工夫・改善でも結構です)
活動の準備	投入される資源やエネルギー	ポリプロピレン樹脂の原材料の採取・石油の精製 カップの成型・輸送に伴う資源・エネルギーの投入	カップの使用回数を増やし、カップの長寿命化のため、カップの底面の強度を向上した
活動時	排出される資源等	特になし	---
活動後	投入される資源やエネルギー	カップの洗浄・輸送に伴う資源・エネルギーの投入	2009年には実施できていないが、2010年中に洗浄場所を川崎市内に確保する予定
	排出される資源等	破損したカップの廃棄・埋め立て	破損するカップを減らすため、カップの底面の強度を向上した
	投入される資源やエネルギー	特になし	---
	排出される資源等	分別・回収されなかったカップの廃棄	回収車の向上のための工夫(スコアボード等を用いた啓発活動、スタンプの拡充による分別排出の確認等)

活動のライフサイクル全体からみたCO₂削減効果(任意)
 ライフサイクル全体からみたCO₂削減効果を算定される場合は、本審査シートの最後にある「ライフサイクル排出量計算シート」をご活用の上、算定結果を記入してください。

CO ₂ 排出削減量	イベント1回あたり XX	単位 (t-CO ₂)
CO ₂ 排出削減率	XX	%

ライフサイクル段階別CO₂排出量の計算シート(記入は任意です)

活動に伴うCO₂排出量

< 活動の準備 >

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)
インプット			
PPカップ (注1)	X g	X g/gCO ₂	XXX
アウトプット			
製品輸送(工場→脱枝場)	-	-	XXX
合計			XXX

*1データの根拠となる出典資料に挙げた資料の番号を記入してください。以下同じ。
注1:PPカップ(Xg)のCO₂排出量には、天然資源の採取・輸入、石油精製、PP樹脂製造、PPカップ成型に伴うCO₂排出量を含め

< 活動時 >

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)
インプット			
水(PPカップ洗浄)	-	-	XXX
アウトプット			
製品輸送(洗浄拠点→脱枝場)	-	-	XXX
製品輸送(脱枝場→洗浄拠点)	-	-	XXX
破損したカップの廃棄	XXX g	XXX g/gCO ₂	XXX
合計			XXX

< 活動後 >

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)
アウトプット			
分別されなかったカップの廃棄	XXX g	XXX g/gCO ₂	XXX
合計			XXX

ベースラインのCO₂排出量

< 活動の準備 >

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)
インプット			
紙コップ製造 (注2)	X g	X g/gCO ₂	XXX
輸送	-	-	XXX
合計			XXX

*1データの根拠となる出典資料に挙げた資料の番号を記入してください。以下同じ。
注2:紙コップ製造(Xg)のCO₂排出量には、木材採採、輸送、リルフ、板紙製造、紙コップ製造、ラミネートフィルム加工に伴うCO₂排出量を含む。

< 活動時 >

特になし

< 活動後 >

項目	収集データ (単位)	GHG係数 (単位)	CO ₂ 排出量 (g-CO ₂)
アウトプット			
焼却	XXX g	XXX g/gCO ₂	XXX
焼却灰埋め立て処理	XXX g	XXX g/gCO ₂	XXX
合計			XXX

